



大文字踊りの輪が広がりました。



成田さんご夫婦は、結婚58年目を迎えました。



歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド⁴

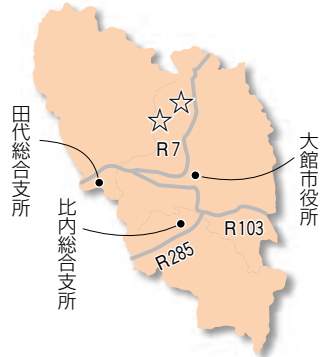
市民の皆さんが
たくさん登場

朝 夕のひんやりした空気は、もう秋の気配。9月は、市内各地区で敬老会が行われています。今回は、敬老会会場での「あつてグッド」です。人生の大先輩たちを前に、恐縮しながらも突撃インタビューの開始！

最 初に訪れたのは、花岡地区の敬老会。会場の花岡公民館には、元気な笑顔のお年寄りでいっぱい！ 来賓のあいさつなどの式典が終わると、歌や踊りの余興が始まりました。ご迷惑かなとは思いつながらにもインタビュー開始。快く受けていただいたのは、**成田治雄さん**82歳(大森)と奥さんの**チヨノさん**78歳のご夫婦。お元氣そうですね。「平成9年に腸の大手術をしたんだ。食べ物には注意をしている。医者の指示を守ってきちんと薬を飲んでいるしな」と治雄さん。これはこれらは…。「女房も平成11年に脳出血になったが、なんとか退院できた。二人暮らしだが、今がとても幸せとと思っている」。チヨノさんは、隣の席で静かにほほ笑んでいます。終始ニコニコ顔のお二人でしたが、お年寄りの方々にとって病氣や健康のことは、常に直面している問題。何の用意もなく、安易にインタビューに臨んでしまったことに深く反省…。

女 同士仲良く話しているのは、**畠沢ハチエさん**77歳(二井山)と**藤盛アイ子さん**78歳(同)。「家がお隣り同士なの。そう、お茶飲み仲間」とアイ子さん。お二人とも、ひ孫がいるそうです。ハチエさんから「合併になっても、各地区とも平等に暮らしていければいい」と話していただきました。余興も終盤になり、婦人会の皆さんによる大文字踊りが会場を囲むと、来賓や招待の方々にもおそろいのはんてんが配られ、踊りの輪は次第に大きくなっていきます。ところ変わっての「あつてグッド」は、矢立地区。会場の矢立小学校体育館でも、余興のトップバッターは、元氣いっぱい地の元保育所の子供たち。かわいらしい演技に、思わずおじいちゃん、おばあちゃんの目尻が下がります。

☆今回訪ねたのは「花岡・矢立地区敬老会」



「隣り同士だから、お互い行き来してるのよ」とハチエさん(左)とアイ子さん(右)



矢立地区では、こんな芸も飛び出し、大にぎわい！